

第7回 志染・緑が丘中学校区統合準備委員会 議事録（要旨）

日 時： 令和3年3月16日(火) 午後7時～8時
場 所： 志染町公民館 2F 会議室
出席者： 三宅仁見 田中隆次 大西秀樹 今枝睦典 東口由美
猶原恵理 奥野敬子 南 雅士 山本学道 野口博史
西臺士郎 奥村浩哉 大江実代子 前田義典
事務局 西本則彦教育長 横田浩一教育振興部長
石田英之教育総務部長 坂田直裕学校教育課長
長池陽作教育施設課長 鍋島健一学校再編室長
山本智康学校再編室主査 小柳陽学校再編室主査
河賀健太郎学校再編室主査

1 開会 (委員長)

ただ今より、第7回志染・緑が丘中学校区統合準備委員会を始める。先日、無事に志染中学校の閉校式が終了した。ABCテレビ「キャスト」でも取り上げられ、地域でもたくさんの方が視聴され、いろいろと評判を聞いている。関係各位におかれてはお世話になり、感謝申し上げます。今回は最後の会となるので、審議をよろしくお願いしたい。

審議に先立ち、委員の過半数が出席されているので、本日の会議が成立していることを報告する。本日、非公開事項に該当する内容があれば、お知らせいただきたいと思うが、皆様いかがか。

【非公開該当事項なし】

それでは、本日の会議についてはすべて公開として開催する。

4月にいよいよ統合するにあたり、今回の統合準備委員会は節目の会となる。そこで、教育長様からご挨拶をいただきたく思う。

(教育長)

第7回を迎えるこの統合準備委員会にご参加いただき、感謝申し上げます。おそらく、この全体会が最後の会になると思われるので、一言お礼を申し上げます。

平成30年度から、学校再編に関して本格的な協議に入り、令和元年の10月にこの委員会を発足させていただいた。約1年半の長きにわたって、いろいろな課題がある中で、協議を重ねていただいた。委員長はじめ委員の皆さま

んにお礼を申し上げます。

先日の閉校式に私も参加させていただいた。寂しい中にも心温まる閉校式やイベントの中、学校再編を進めてきた立場の者として、身が引き締まる思いを抱いた。

委員の皆様には全体会をはじめ、複数の部会に参加して協議していただいた。

総務部会では、歴史のある学校の閉校ということで、学校や地域の文化を思い量りながら学校運営に関する校歌・校訓等について協議していただき、一定の方向性を出していただいた。

PTA 部会については、緑が丘中学校の PTA 活動の中で志染地区委員という新たな組織をつくっていただけるということを知っている。通学方法については生徒や保護者目線ですっきりと協議・提案をしていただき、大きな力となった。

学校運営部会に関しては、子どもたちが新しい学校生活の中でスムーズに馴染んでいけるように各教科や校務分掌ごとの配慮をはじめ、合同人権研修、生徒交流、合同授業、通学の練習会などそれぞれ実施をいただいた。

通学・安全部会に関しては、地域や保護者のお考えをお聞きしながら、スクールバスや自転車の通学方法について決定することができた。4 月から志染・緑が丘・青山の 3 地区からなる新しい緑が丘中学校がスタートする。スタート後の 1 年間は地域を含めて、再構築・試行錯誤の連続かもしれない。全体会は本日で終わりとなるが、今後も委員の皆様には温かく見守っていただきたい。これまでのご支援やご協力に感謝申し上げます。

(委員長)

ありがとうございました。この後、教育長様は退出されます。

(教育長退出)

今後ともよろしく申し上げます。失礼します。

(委員長)

それでは、各部会長から部会での協議内容を報告していただく。部会長からの報告を受けて、質疑応答の時間を設ける。その後、承認事項については、委員の皆様にお諮りする。以上の流れを、部会ごとに行っていく。

1 時間以内で協議を進めていきたいのでご協力をお願いします。

報告事項にうつる。事務局から報告はあるか。

2 報告事項

事務局からの報告事項なし

3 各部会からの報告及び協議

(1) 総務部会

(部会長)

基本的には、統合準備委員会だよりの記載のとおりであるが、閉校記念式典や記念事業を地域の方の協力のもと、無事に終了することができ、皆様には感謝申し上げます。統合後の卒業アルバム等については、PTA より別冊アルバム代金の一部である 2,000 円を補助している。これについては、まったく別で作るというのではなく、基本は緑中の卒業アルバムとし、志染中での 1 年間・2 年間の思い出を別に数枚追加していくことを想定している。

(委員長)

部会長より総務部会の報告をいただいた。皆様のご意見を伺いたいと思うが、いかがか。

【質問等なし】

(委員長)

それでは、引き続き、PTA 部会の報告をお願いします。

(2) PTA 部会

(部会長)

以前に報告させていただいた内容とほぼ変わらないが、4 月 17 日に開催される緑が丘中学校の PTA 総会の前に、志染中学校の PTA 総会を開催し、PTA の解散を行う予定である。

(委員長)

以上、PTA 部会の報告であったが、次に進めてもよいか。

【質問等なし】

(委員長)

それでは引き続き学校運営部会の報告をお願いします。

(3) 学校運営部会

(部会長)

コロナ禍の中で、なかなか思うような交流ができないということもあったが、それでも子どもたちは、仲良くなったみたいで嬉しく思う。志染中の子と同じクラスになりたいと言っている生徒もいる。1年生は今年スキー実習に行けなかったのが、明日3月17日は最後の交流日ということも含め、一緒にスケート実習を行うことにしている。3月25日にはいよいよ引越が始まる。職員の方も受け入れ準備をしているところである。すでにいくつかの引越が始まっており、志染中の文書保管ということで大きな金庫を用意しているところである。

(委員長)

ありがとうございました。

それでは続きまして、通学・安全部会からの報告をお願いします。

(4) 通学・安全部会

(部会長)

懸案事項が多くあった通学・安全部会だが、非常事態宣言の延長等で思うように会議を実施することができなかった。事務局と連絡を取りながら、確認してきたことを報告する。

通学バス利用希望者の調査については、3月4日付で志染小学校の6年生、志染中学校の1・2年生を対象に行った。回答期日を3月11日として、教育委員会の方で集約していただいている。今からその結果を報告していただく。

(事務局)

3月4日に実施した「通学方法の選択について」の調査用紙の結果報告をする。バス希望者22名、自転車希望者9名の合計31名である。バスは28人乗りであるため、定員オーバーになることなく、定時に運行できる。

(部会長)

ありがとうございました。2便出るのだが、1便に生徒が集中して乗れなくなったらどうしようかと心配していたが、今のところ安心している。乗車希望の変更については、1学期終了時に見直し等ができるようにしている。また、1年が経った後にも通学方法の見直し等ができるようにしていく。

なお、実際に通学が始まってから、どうしても不都合が生じた場合、その都度協議・調整していくと聞いている。

志染側のバス乗降所におけるトイレ利用について、登校時には特段準備をすることは難しい。下校時には志染公民館やデイサービスセンターが開いているので、依頼すれば使用可能であると考え。登校時に不測の事態が生じた場合は、近所の家で何とか対応してもらえればと考えている。

各家庭と通学バスの連絡方法については、添乗員がいないこともあり、運転中は電話に出られない。したがって、各家庭からは直接、緑が丘中学校に連絡していただくことになる。緑が丘中学校とスクールバスは適宜連絡を取る体制を構築していく。

安全対策の見守り等については自転車通学生に対しては、前回の書面会議の資料に掲載しているとおりである。防犯灯については、新学期が始まるまでには設置ができるように進めていく。志染側の駐輪場については、昨日から工事が始まっている。緑が丘中学校側の駐輪場及びスクールバスを停車しておく駐車場については、春休み中には設置完了予定と聞いている。

この件について、補足はあるか。

(事務局)

緑が丘中学校の自転車置き場に関して、1点お詫びすることがある。現在、自転車通学者のための自転車置き場の整備を進めているところである。デイサービスセンター側の駐輪場に関しては3月中に完成する予定であるが、緑が丘中学校の駐輪場については、県の確認申請の関係で県の「建築審査会」の許可を受けてから工事を進めないといけないと報告を受けたところである。建築審査会の最短の開催は5月であり、そこから工事を始めるとなると大幅に遅れてしまう。現在、建築審査会の開催を早めることができないか、または審査会を受けなくても工事を進めていく方法はないかなどを、市の建築住宅課や県の加東土木事務所と協議をしているところである。したがって、現時点では緑が丘中学校の駐輪場の工期が遅れてしまう可能性がある。その間、仮の自転車置き場を設置し、対応していただく可能性がある。誠に申し訳ない。

(事務局)

緑が丘中学校のバスの駐車場に関しては、東門から入って校舎の横に設置する。その工事は実施しない。もともとその場所に停車していた自動車については中庭に移動していただく予定にしており、中庭の工事はすでに完了している。

(部会長)

通学見守りについて、教育委員会から志染・緑が丘・青山の3地区の区長様宛に4月から自転車通学が始まる旨の通知をしていただき、地域の方のご支援・ご理解を求めているところである。

青山地区の人の目の垣根隊の方への見守り依頼もしている。本来ならば小学生の登下校を主に見守っておられるのだが、今後中学生の様子も可能な限り見守っていただくよう依頼をしているところである。

(委員長)

ありがとうございます。懸案事項であった課題に対しても、一応の回答が出たように思う。

報告事項に対して、皆様のご意見を伺いたいと思うが、いかがか。

(委員)

バス通学には距離による制限があったが、最終的に希望どおり利用することができた。よかったと思う。今後、他地域の統合においても希望者全員が乗車できるようになるのか。

(事務局)

市が示している実施方針には中学生なら6キロという一つの基準でもって、自転車通学になるかバス通学になるかを判断している。小学生の徒歩通学については、4キロという距離で一定の判断をしている。これは全国の自治体が基準として定めており、三木市もその基準に倣って判断をしている。吉川地区でもそうであったが、地域の事情、子どもの様子、交通安全の様子などを勘案し、それぞれの地区ごとに検討していくことにしている。

(委員長)

他に質問はあるか。

(委員)

家庭と通学バスの連絡方法に関連して、どんな連絡内容が想定されるのか。学校で対応できることと対応できないことを見極めながら、対応していきたい。

(委員)

もちろん、時間厳守であるが、1便で登校しようと思っていたところ、何らかの事情で乗れなくなり、2便の乗るとかが考えられる。自転車通学途中にけがをしてしまい、連絡が遅れてしまうことが想定される。

(委員)

教師で対応できることは対応していくが、運転手に連絡を取って対応するという事は難しい。学校が窓口になることは、当然であると考えている。どういふことが起こりうるのか、どこまでできるのか、またその都度、相談をさせていただきたい。

(部会長)

時間になったら運転手さんは出発してもらうことが前提である。

(委員)

細かいルールをつくれればつくるほど、イレギュラー対応が出てくるので、ルールは極力単純にしたい。今、そのルールづくりを行うのは無理なので、実際に運行しながらつくっていききたい。

(事務局)

基本的に中学校と通学バスが連絡をするときは、緊急時対応のみである。今後、学校とバス会社と教育委員会とで協議を行い、確認作業をしていく。

(部会長)

保護者には、基本的にはバスとの細かい連絡については行わず、直接学校へ連絡をしていただくようにする。

(委員)

保護者としての意見となるが、出発時刻及び下校時刻について案内があったが、7時10分のバスに乗ろうと思えば自宅を6時40分に出ないといけない。かなり早め早めに準備をしていかないといけない。夏や冬で状況は変わると思うので、こればかりはやってみないと分からない。

緑が丘中学校と志染中学校の下校時刻においても、バスの出発時刻を調整していく必要がある。部活動においての自宅出発時刻や帰宅時刻が保護者としても不安である。

現在、志染中学校では日没の時間が下校時間とされており、親としても安心である。また、自転車で青山の坂を下るなど練習を通してやってみないと分からないことが多い。

やはり、心配なのは家族との連絡手段の確保である。新学期が始まったときに、保護者からの意見が出たときに窓口になっていただき、相談に乗ったり意見をまとめたりしていただきたい。

(委員)

下校時刻については変更する。これまでは遅い時間で6時半であったが、

これからは6時にする。秋の下校に関しては、緑が丘中学校でも徒歩通学生が暗くなる前までには帰宅させている。天候によって左右されることもあるため、天気が悪いときは早めに下校させている。

部活動の朝練習であるが、全員そろったのを確認してから行うというのではなく、それぞれが集まりしだい練習を開始している。必ずしもバス出発時刻を7時10分に決定するというものではない。子どもの様子や思いを大切にしつつ、今後顧問と相談していきながら対応をしていく。

学校との連絡窓口については、基本的には教頭になるが、自転車通学については交通安全担当が担う。入学式以降、朝夕の交通立ち番や坂の見守りは計画を立て始めている。悩ましいのは、バスの運行である。警報時の対応や学年ごとの授業の終了時刻に多少ずれがあるため、そういったイレギュラーなことに對してどう対応していくかが課題である。

したがって、今年1年を試行期間として、1年をかけて準備を進めていくという形にしたい。

(委員長)

ありがとうございました。他に意見はないか。

(委員)

中学校の駐輪場の工事が遅れると聞いたが、そういった施設設備面はできるだけ早く対応していただきたい。

防犯灯の設置についても遅延なく対応していただきたい。

(委員)

駐輪場の自転車については、仮とは言え、雨ざらしにならないように検討していく。

(委員長)

特に通学・安全部会から通学バスとの連絡・連携、登下校の心配等の意見が出たが、1年かけて地域も先生も様子を見ながら進めていく。

事務局から連絡事項があったらお願いします。

4 その他

(事務局)

3点ほど、お願いと連絡をさせていただく。

1点目は、先ほどの教育長の話にもあったが、みなさんに集っていただいたの会は、今回で一旦区切りとさせていただく。統合後の新たな学校を今後1年間かけて創り上げていくという姿勢のもと、委員の皆様には今後も引き

続き、温かな目で見守っていただきたい。

2点目は、3月25日（木）の志染中学校の引越作業のことである。これまで半年以上かけて準備をしてきた。現在、物品によっては移動している物もあるが、一番大きな作業は25日である。

最後に、令和3年度のことになるが、緑が丘中学校で両校生徒が対面してこれからも新たにならばいいとしようとする趣旨の開校式（対面式）を計画している。生徒会を中心に現在、検討してもらっている。また、その様子も伝えていきたい。

（委員）

1年間の見守りというのは、このメンバーの任期が延長されるということなのか、一旦解散後、個人的に見守りを続けることなのか。

（事務局）

もし、よろしければ、今まで統合校の基礎を組み上げてくださった今の委員の皆様と今後もメール等で情報を共有したり、あるいは相談に乗っていただきたりしないかと考えている。したがって、完全に解散というわけではなく、このまま見守っていただけるとありがたい。

（委員長）

皆様、それでよいか。

（異議なし）

（委員長）

統合準備委員会として会を開くことは無いが、もし、何か突発的な緊急事態等があれば、このメンバーで協議することになるかもしれない。

（委員）

統合準備委員会の役目はこれで終わりだが、決めたことをやっていく中で、不都合だと保護者の方が思われた時には、新地区委員の保護者の方を中心に保護者の中で話をしたり、学校へ要望を出したりしていただくということによいか。

（事務局）

基本的にはそうである。

（委員長）

ありがとうございました。

他に意見がないようなら、これで閉会とする。

5 閉会

(教育振興部長)

1年半の長きに渡り、お世話になり、感謝申し上げます。あと1か月もしないうちに新たな緑が丘中学校がスタートする。まずは、生徒の安心・安全を第一に考えている。実際に始まってみると、いろいろな課題が見えてくることも想定される。その都度、教育委員会・学校・保護者と相談もさせていただきながら、検証していくとともに柔軟に対応させていただきたい。

皆様方には、相談させていただくこともあると思うが、引き続き、子どもたちの見守りをよろしくお願いしたい。